

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	城西短期大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
—	ビジネス総合学科	夜・通信	0	0	22	22	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://junavi.josai.ac.jp/camweb/top.do>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	城西短期大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://www.josai.jp/about/director/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤 上原 明 理事長	大正製薬ホールディングス (株)代表取締役社長	2017.4.1～ 2021.3.31	理事長
非常勤 吉本 高志 理事	元独立行政法人大学 入試センター理事長	2017.4.1～ 2021.3.31	大学経営全般に関する指導、助言及び管理、監督
非常勤 宮崎 公男 理事	元東京高裁判事	2017.4.1～ 2021.3.31	コンプライアンスに関する指導、助言及び管理、監督
非常勤 浅島 誠 理事	帝京大学学術顧問	2019.4.1～ 2023.3.31	学術研究に関する指導、助言及び管理、監督
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	城西短期大学
設置者名	学校法人城西大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>○授業計画書《シラバス》の作成過程について シラバス掲載内容及び作成にあたっての留意は以下のとおり</p> <p>(1) 科目基本情報</p> <p>①科目名 ②配当年次 ③開講期間 ④単位数 ⑤担当教員名 ⑥期間・曜日・時限・教室</p> <p>(2) 授業の目的・目標等</p> <p>①授業の概要 ②授業の目的 ③学習成果 ④到達目標 ⑤実務経験と授業内容との関連 ※実務経験を有する教員の場合は記述する。</p> <p>(3) 準備学習の指示 (4) 講義スケジュール (5) 教科書 (6) 参考文献 (7) 授業の方法 (8) 成績評価方法 *到達目標の達成度を測定できる方法を記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価方法 ・割合 ・評価基準など <p>(9) オフィスアワー・居室 (10) その他特記事項</p> <p>なお、シラバス作成にあたり、3つのポリシー及び当該学部・学科のカリキュラムポリシーに準じて記述するよう留意し作成している(結果として大学の教育の質の保証に繋がることを意識し作成にあたります)。</p> <p>○授業計画の作成・公表時期 例年、前年度の10月中旬頃に各教員が担当する授業担当科目が決定する。 それに伴い、11月初旬頃からそれぞれの教員がシラバスの作成が始まり、学内チェックを得て新年度までに完成させる。 公表時期については、当該年度開始と同時に大学のポータルサイト(JUシラバス)または、ホームページ上からも閲覧できるようになっている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>〈シラバス〉 大学ポータルサイト(JUシラバス)トップページにて掲載 アドレス https://junavi.josai.ac.jp/camweb/top.do</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学年毎に履修すべき科目や選択科目の設置をしている。

授業は原則として、前期・後期それぞれ90分授業を基本（実験・実習は除く）とし、15週の授業で構成している。さらに1年間の履修上限を48単位までとすることで、学生の各科目の学習時間の確保を行い、単位制度の実質化につなげている。

履修した授業科目に対しては、あらかじめシラバスで記してある成績評価方法（試験やその他の評価方法〈課題・レポート等〉）により評価をしている。なお、いずれの授業科目も授業時数の1/3以上欠席した場合には、原則として当該授業科目の受験資格を失うこととしている。

〈単位授与及び成績評価基準について〉

学生が履修した授業科目に対して、試験その他の方法（レポート等）により学習評価をしたうえで、その単位を認定する。単位認定の評価は、S・A・B・Cにより単位を修得したことを示す。評価の基準については、次のとおりとなっている。

成績評価	評価基準（点）	合否
S	100～90	合格
A	89～80	合格
B	79～70	合格
C	69～60	合格
F	59以下	不合格

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価方法及び評価基準については短期大学設置基準に基づいて、短期大学学則第22条ならびにシラバスに記載されている。本学では、GPA制度を導入しており、学生は自らの学習成果の推移を知り、学修の自己管理ができるようになってきている。GPAの結果は、学科毎に通知する成績表や成績証明書に記載している。

学則に示される成績評価の基準は、100点満点で、100～90点が「S」評価、89～80点が「A」評価、79～70点が「B」評価、69～60点が「C」評価で、以上が合格とし、59点以下が「F」評価の不合格となる。それぞれのGPAのポイントは、4、3、2、1、0となっている。

単位については、短期大学設置基準に基づき短期大学学則20条で定められている。

(GPの基準)

成績評価(表示)	評価の基準(点)	合否	GP
S	100～90	合格	4
A	89～80	合格	3
B	79～70	合格	2
C	69～60	合格	1
F	59以下	不合格	0

[GP×当該科目の単位数]の合計

GPA = $\frac{\text{履修登録科目の単位数の合計 (F 評価を含む)}}{\text{履修登録科目の単位数の合計}}$

履修登録科目の単位数の合計 (F 評価を含む)

※不合格となった科目を次年度以降に再履修して合格した場合には、成績は上書きされ、過去の不合格の成績は、GPA 計算式に算入されない。

<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>〈成績評価基準〉 学生便覧（入学時に配付）の「履修の手引と手続き」に掲載 *学生便覧入手方法 城西大学教務課宛てに電話連絡の上入手可能 TEL 049-271-7723(直通)</p>																	
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ビジネス総合学科は、「自立した社会人として求められる人間力」を基本的学習成果と定めています。「人間力」とは、具体的には①前に踏み出す力、②考える力、③協力する力です。また本学科は、専門的学習成果を「職業人として活躍できる幅広い教養と、英語、情報、メディア、会計、販売・接客、事務処理等のビジネススキル」と定めています。ビジネス総合学科は、学科の所定の単位を修得した人が、以下の能力・態度を身につけていると判断し、短期大学士（ビジネス総合）の学位を授与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会人として必要とされる基礎能力および態度 ●ビジネスの世界で働くマインド（集中力、知的関心、積極性、自主性等） ●組織で働く協調性 <p>－卒業要件－ (短期大学学則第23条) 本学を卒業するためには、2年以上在学し、次に定める必要な単位数以上を修得しなければならない。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>基本科目</td> <td></td> <td>16単位</td> </tr> <tr> <td>専門科目</td> <td>必修</td> <td>4単位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>選択</td> <td>24単位</td> </tr> <tr> <td>専門科目選択科目</td> <td rowspan="3">}</td> <td rowspan="3">18単位</td> </tr> <tr> <td>および</td> </tr> <tr> <td>関連科目（選択）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>62単位</td> </tr> </table> <p>【卒業判定の手順】 最終学年（2年生）の成績評価表をもとに、定められた卒業要件の科目の成績が適切に評価されているかの確認をしたうえで、卒業の可否を決定する。〔定められた分野の科目の評価を確認〕 なお、学生に対する卒業可否についての発表は「卒業発表日」（年間行事予定表に掲載）に行う。</p>		基本科目		16単位	専門科目	必修	4単位		選択	24単位	専門科目選択科目	}	18単位	および	関連科目（選択）	計		62単位
基本科目		16単位																
専門科目	必修	4単位																
	選択	24単位																
専門科目選択科目	}	18単位																
および																		
関連科目（選択）																		
計		62単位																
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>大学ホームページにて公表 大学ホームページアドレス https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/college.html</p> <p>なお、卒業に必要な科目及び単位数については、「学生便覧」（入学時に配付）の「履修の手引と手続き」に掲載 *学生便覧入手方法 城西大学教務課宛てに電話連絡の上入手可能。 TEL 049-271-7723(直通)</p>																	

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	城西短期大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	インターネット https://www.josai.ac.jp/about/information/basic_data.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称: 大学情報公開学校法人城西大 2020 年度事業計画 対象年度: 2020 年度)

公表方法: <https://www.josai.ac.jp/about/information/index.html>

中長期計画 (名称: 大学情報公開学校法人城西大中期計画 対象年度: 2020~2024 年度)

公表方法: <https://www.josai.ac.jp/about/information/index.html>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <https://www.josai.ac.jp/about/activity/evaluation.html>

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法: <https://www.josai.ac.jp/about/activity/evaluation.html>

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 ビジネス総合学科
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html) (概要) 城西短期大学は、知識と専門の学術を教授・研究し、知的・道徳的能力の涵養を図ることによって、社会におけるさまざまなニーズにこたえられる幅広い教養と、実社会に関する専門的な知識・技能を兼ね備えた人材の育成を目指します。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html) (概要) ビジネス総合学科は、「自立した社会人として求められる人間力」を基本的学習成果と定めています。「人間力」とは、具体的には①前に踏み出す力、②考える力、③協力する力です。また本学科は、専門的学習成果を「職業人として活躍できる幅広い教養と、英語、情報、メディア、会計、販売・接客、事務処理等のビジネススキル」と定めています。ビジネス総合学科は、学科の所定の単位を修得した人が、以下の能力・態度を身につけていると判断し、短期大学士（ビジネス総合）の学位を授与します。 ●社会人として必要とされる基礎能力および態度 ●ビジネスの世界で働くマインド（集中力、知的関心、積極性、自主性等） ●組織で働く協調性
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html) (概要) ビジネス総合学科は、社会で必要とされる基礎的な能力養成を「基本科目」で、各分野で必要とされる専門的な能力を「専門科目」で学べるようになっていきます。また、多彩な語学教育を含めた「教養科目」を設置しています。 ●基本科目：「人間力」を養成するゼミナール、職業人としての基礎知識を学ぶ経営学、英語、コンピュータ演習・キャリア教育科目 ●専門科目：ビジネスの世界で必要とされる専門知識、販売・会計・観光・メディア・情報・健康等の分野で働く能力を養成する各種専門科目 ●関連科目：文学、法学、社会学を始めとした一般教養科目、多彩な外国語科目、少人数教育で、講義と演習を組み合わせた授業を実施し、体験型の授業も行います。また、具体的な資格取得を目指した授業も行っています。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html) (概要) ビジネス総合学科は、社会における情報化・国際化のニーズにこたえられる実務処理能力と、ビジネス・マインドを兼ね備えた人材育成を教育目標に掲げています。入学者の受け入れは、以下に挙げる点を高校の成績や入学試験の結果を基に、総合的に評価します。 ●「人間力」養成という本学科の教育方針への理解と共感 ●ビジネス社会で必要とされるコンピュータ、英語、コミュニケーション能力等に対する積極的な姿勢 ●将来の目標に対する意欲、表現力、判断力

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/kohyo/publication.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
ビジネス総合学科	0人			—			0人
	—	4人	5人	1人	0人	0人	10人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		18人					19人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://researcher.josai.ac.jp/search?m=home&l=ja					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
大学、短大合同で教職員対象に年3回開催しています。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
ビジネス総合学科	120人	142人	118.3%	240人	298人	124.2%	欠員の範囲	0人
合計	120人	142人	118.3%	240人	298人	124.2%	欠員の範囲	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
ビジネス総合学科	120人 (100%)	25人 (20.8%)	70人 (58.3%)	8人 (6.7%)
合計	120人 (100%)	25人 (20.8%)	70人 (58.3%)	8人 (6.7%)
(主な進学先・就職先)				
就職先：(株)オンワード樫山、トヨタ部品埼玉共販(株)、(株)スズヤス、(株)ビックカメラ、(株)AOKI、(株)イング、東洋水産(株)、エム・ユー・センターサービス東京(株)、住友生命保険相互会社、山二ガス(株)、越谷誠和病院、首都高パトロール(株)、学校法人埼玉医科大学、八潮中央総合病院、パーソルテンプスタッフ(株)、(株)ミニミニ、佐川急便(株)				
進学先：城西大学、城西国際大学、日本大学、東京福祉大学、明星大学				
(備考) *1 その他に就職未内定者含む。				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
ビジネス 総合学科	152人 (100%)	111人 (73%)	13人 (8.6%)	28人 (18.4%)	0人 (0%)
合計	152人 (100%)	111人 (73%)	13人 (8.6%)	28人 (18.4%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) (概要) シラバスに科目担当教員が授業の目的、目標、学修成果、到達目標、授業毎に講義の内容等を公表しています。
さらに授業の方法や成績評価方法、オフィスアワーの時間帯、居住等も記載しています。

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
年度末に開催される卒業判定教授会において、最終学年（2年生）の成績評価表をもとに、定められた卒業要件の科目の成績が適切に評価されているかの確認をしたうえで、卒業の可否を決定する。〔定められた分野の科目の評価を確認〕

なお、学生に対する卒業可否についての発表は「卒業発表日」(年間行事予定表に掲載)に行う。

学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
短期大学	ビジネス総合学科	68単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦ 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/campus/index.html>
なお、紙媒体の大学案内にも掲載しております。
*紙媒体入手方法
城西大学入試課宛てに電話の上入手可能
TEL 049-271-7711（直通）

⑧ 授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
—	ビジネス総合学科	670,000円	150,000円	284,000円 (2年目以降は 184,000円)	施設設備費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

- ①学内奨学金として、入学成績上位者に対する授業料減免制度、学業成績・人物優秀者に対する授業料減免制度、経済困窮者への経済支援奨学金制度、本学独自制度による海外留学に伴う奨励制度、海外からの留学生に対する授業料減免制度、学費支弁者の死亡による授業料・施設整備費の全額補助制度があります。
- ②学外奨学金として、日本学生支援機構、地方公共団体、民間団体の奨学金を活用し支援を行っています。
- ③障がい者には、学生サポート、学内のバリアフリー化等、可能な限りの支援を行っている。
- ④学部学生には、選考により、教育的配慮の下に学内業務に従事させ、経済的援助を行い、修学の奨励を図っています。(ワークスタディ・プログラム制度)
- ⑤図書館においては、論文やレポートの書き方のアドバイス、文献の探し方やパソコンの使い方を教える、学生アドバイザーを配置し学習支援にあたっています。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要) 将来の進路を意識した大学生活を一人一人が安心して過ごせるよう、様々なサポート体制を整備し、全力でサポートをします。

進路選択に係る支援(キャリアサポート)については、きめ細かな個別指導、充実した対策講座・ガイダンス及び就職活動情報の適時適切な提供をすることでサポートしています。

①きめ細かな個別指導

1年次～2年次まで各学年に合わせたサポートをキャリアカウンセラー(国家資格キャリアコンサルタント資格保有職員)が行っています。特に2年次からは学生一人一人に対し、進路・職業への一般的な相談からエントリーシート・履歴書の書き方、模擬面接等の実施まできめ細かく、懇切丁寧に個別指導をします。

②充実した対策講座・ガイダンス

夫々の特性に応じた対策講座・ガイダンスを用意し、進路選択・進路決定に資するようサポートします。

③就職活動情報の適時適切な提供

城西大学求人管理システム、城西大学就活アプリ等を活用して、最新の求人・インターンシップ・対策講座・各種ガイダンス情報の提供を行うとともにハローワーク等と密接に連携しています。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

- ①保健センターは看護師が定期健康診断、突発的な怪我や病気等に対応を行っています。

(ア) 授業中に気分が悪くなったとき

(イ) 課外活動中の怪我をしたとき

(ウ) 持病をもっている学生の健康管理

(エ) 週一回内科医による健康相談が可能です。

(オ) 神経科・心療内科医師による悩みごと相談が可能

- ②学生相談室は、公認心理師、臨床心理士が学生の悩みごとや心配ごとなどに対応をしています。

(ア) 学生支援が必要な学生に対し、担当学部、学科の教職員と調整を行い授業が受けられるよう支援

(イ) 課外活動、学業のこと、友人関係のことなどの悩みごとなどに対応

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/kohyo/publication.html>